

(山北地区)

令和2年度の地域包括支援センターの活動と課題について（自由記載）

○一般介護予防事業

元気クラブ

- ・府屋駅前集落、脇川集落を対象に感染症化の中、予定通り実施できた。
- ・レクリエーションや太鼓演奏を行い、継続参加者に脳活性化の変化が見られた。
- ・毎年集落からの開催要望がなく、集落選定に苦慮している。

転倒予防教室

- ・継続集落6カ所、新規集落3カ所、計9カ所で開催。
- ・感染症化での貴重な集いの場として、毎回10名以上参加があった集落からは継続希望があった。しかし参加者が毎回2～4人程度の集落もあり継続困難。

○元気応援通所サービスC

元気応援さんぼく教室

- ・感染症対策として規模縮小して実施。定員12名で3か月間（10～12月）開催。参加者は11名。
- ・参加勧奨しても新規参加者が少なく、毎年参加者とりまとめに苦慮している。

○包括的・継続的ケアマネジメント

山北地区介護支援専門員連絡会

- ・毎回、各居宅事業所や包括支援センターが担当する事例を検討。
- ・事例提供者や司会進行を参加者が担うことで、自立支援ケアマネジメント実践力の向上につながると参加者より好評を得ている。

○生活支援体制整備

さんぼく互近所ささえ～る隊

- ・感染症化のため集いの場が休止となり、介入しづらい状況化だったが、集落総代や民生委員へ困りごとアンケートを行い、実施分析結果を「さんぼく互近所ささえ～る隊新聞」として住民へ返した。
- ・集落総代や介護予防教室、健康講座などの小規模集会へ参加し、PRや困りごと聞き取りを行った。

○認知症総合支援

認知症カフェ

- ・グループホームさんぼく、グループホームしおかぜの共同自主開催とし、協力依頼があれば山北支所も支援する体制。
- ・感染症化で面会制限が続き、施設での開催ができない状況が続いたため開催できなかった。

認知症サポーター養成講座

- ・感染症化で開催要請なし。

令和3年度の取り組み（自由記載）

○一般介護予防事業

みんなで笑おう元気アップ教室

- ・開催期間を10月から1月までとし、9集落で実施している。
- ・開催時期が冬期間のため、感染症予防対策や教室開催不可時の対応準備する。

○元気応援通所サービスC

元気応援さんぼく教室

- ・1クール（10～12月）で計12回開催中。参加者は新規のみ9名。

○包括的・継続的ケアマネジメント

山北地区介護支援専門員連絡会

- ・年2回（6月・2月）開催予定。事例検討会。

○生活支援体制整備

さんぼく互近所ささえ～る隊

- ・山北地区の移動支援研修会をNPOおたすけさんぼくと一緒に開催。

○認知症総合支援

認知症カフェ

- ・グループホーム2施設で自主開催。周知の部分で山北支所も協力する。